

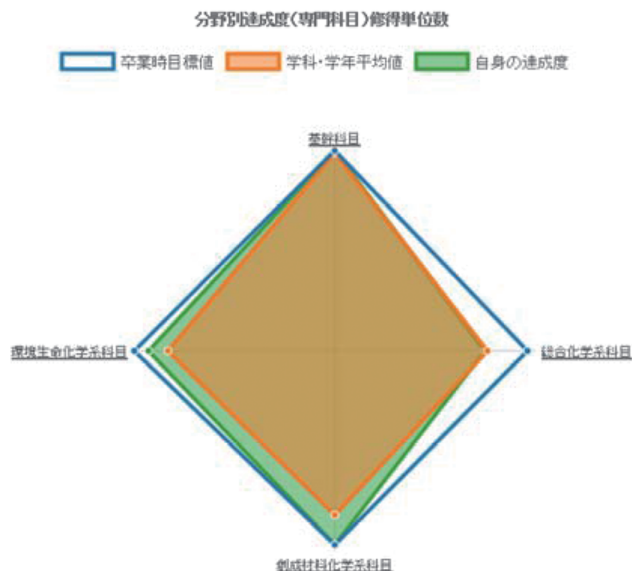
分野別達成度

【分野別達成度について】

卒業要件に含まれる科目について、専門科目と専門科目以外を、教育課程上の分野ごとに項目だて、それぞれに対する修得単位数とT-累計GPの状況を表示しています。

GPとは、科目の評価点にその単位数を乗じた値です。これまでに修得した科目ごとのGPを合計した値を、T-累計GPと表示しています。

評価値が「N」「G」の科目については、累計GPに加算されません。



項目	自身の達成値	学科・学年平均値	卒業時目標値	達成度合(%)
基幹科目	33	32.1	33.0	100.0
総合化学系科目	10	10.4	18.0	55.6
創成材料化学系科目	22	14.7	22.0	100.0
環境生命化学系科目	20	15.2	24.0	83.3

分野別到達目標

基幹科目	化学の基礎から応用までを体系的に理解し、多様な化学現象の本質を説明できる。化学の実験や演習により修得した問題解決能力をもとに、社会の要求や課題に対して他者と協議して取り組むことができる。化学技術の基礎を継続して学習し、化学物質や化学プロセスが潜在的にもつ危険性や環境への負荷を認識し、これらを予防するための手段を考え、適切に対処することができる。化学の専門知識と技術力をもとに、自らの考えを論理的に表現し、他者との相互理解のもとで議論することができる。情報技術を活用して、自らの意見や成果を発信できる。
総合化学系科目	化学技術の基礎を継続して学習し、化学物質や化学プロセスが潜在的にもつ危険性や環境への負荷を認識し、これらを予防するための手段を考え、適切に対処することができる。化学技術の専門知識と技術力をもとに、自らの考えを論理的に表現し、他者との相互理解のもとで議論することができる。情報技術を活用して、自らの意見や成果を発信できる。
創成材料化学系科目	化学の基礎から応用までを体系的に理解し、多様な化学現象の本質を説明できる。創成材料化学分野の専門科目を継続して学習して材料創成やエネルギー関連化学における化学技術の基礎力を身につけることで、持続的な社会の維持・発展に向けて、地球環境に配慮した化学技術について考え、化学技術者としての使命観や倫理観をもって行動することができる。
環境生命化学系科目	化学の基礎から応用までを体系的に理解し、多様な化学現象の本質を説明できる。環境生命化学分野の専門科目を継続して学習して環境、生命、健康、食品関連化学における化学技術の基礎力を身につけることで、持続的な社会の維持・発展に向けて、地球環境に配慮した化学技術について考え、化学技術者としての使命観や倫理観をもって行動することができる。